

# 鳥取県青少年育成アドバイザー 協議会通信

鳥取県青少年育成アドバイザー通信 73号  
鳥取県青少年育成アドバイザー協議会  
発行日 2017. 5. 24  
編集 芳村恵子

## 平成 29 年度 鳥取県青少年育成アドバイザー協議会総会

日時：平成 29 年 5 月 7 日（日）  
会場：県立倉吉体育文化会館

出席者：馬屋原県民会議事務局長  
山本会長 新川 西浦 井上 清水  
西上 東 植嶋 松原 中原 芳村

山本会長より、全日本アドバイザー連合会・中  
四国アド・県民会議の状況等について、および西  
上さんより全日本アド講習会についての報告があ  
りました

その後、平成 28 年度活動の総括・事業報告並び  
に収支決算と、平成 29 年度活動方針・事業計画・  
収支予算案が審議されいずれも承認されました。

新しく仲間になって頂けそうな中原さんと他に  
も講習を受けてくださった方もいるとのことで、  
明るい 29 年度が始まりました。

学びの場である研修会も 3 回計画されました。  
青少年を取り巻く現状をあらゆる方向から情報収  
集し、「子どもが伸びるチャンスを生かす活動」に  
役立てたいものです。

そしていつものように、懇親会も盛り上がり、  
心ひとつにエネルギー補給ができました。

## 「全日本アドバイザー養成講習会」 に参加して

西上 洋治

平成 29 年 2 月 17 日から 19 日、東京青少年オ  
リンピックセンターでの講習会に参加しました。

13 時 30 分から始まった講習会、本当に一日を  
充実したものに計画されていました。

初日は 21 時 30 分まで、3 テーマ 5 グループに  
分かれての意見交換で終わりました。

2 日目は 9 時から講義と実習で始まり、21 時  
15 分までの課題別研究で終了。その後 22 時 15 分

まで D 棟 9 階にあるレストランさくらで飲食しな  
がら交換会を持ちました。

3 日目は 8 時 30 分から課題解決の企画立案に  
取り組み、全体会で発表しました。

3 日間の主な講義内容とグループ研修は次の通り  
です。

- 講義①「国の進める子供・若者育成支援施策につ  
いて」櫻川博三(内閣府政策統括官)
- 講義②「青少年の発達過程における育成課題に  
ついて」萩原元昭(群馬大学名誉教授)
- 講義③「青少年育成運度と我ら青少年育成アバ  
イザーの役割」山本邦彦(連合会会長)
- 意見交換会④

- 第 1 グループ 「青少年の居場所づくりや  
ニート・引きこもりの現状と向かい方」
- 第 2 グループ 「インターネット時代の子育て  
教育に関わる知識と啓発への具体策」
- 第 3 グループ 「青少年育成活動をどうデザイ  
ンするか」

講義・実習⑤「相談・助言の意味、実践の基礎と  
応用について」

芝崎武宏(埼玉大学講師)

講義⑥「子ども・若者お居場所づくりの考え方と  
実践」

久田邦明(東京学芸大学講師)

講義⑦「インターネット時代の青少年育成者の  
役割について」

下田太一(青少年メディア研究協会理事長)

講義⑧「青少年健全育成を育む町づくりの発想  
と実践について」

福留強(生涯学習まちづくり協会理事長)

課題別研究⑨

前日の問題や課題を整理し、解決のためのテ  
ーマを絞る

課題解決の企画立案⑩

具体的な方策を知恵を出し合い立案し、模造  
紙にまとめる



## 全体会①

グループワークで立案したものを発表し、明日からのアクションへ

私は、フォローアップ研修として参加しました。シーツや枕カバーを玄関前で受け取り、部屋のセットは自分で行い、後始末も洗面所やトイレ等の掃除を含め分担して行うなど生活面での研修もできました。

同じ志を持つ者同士、話が尽きません。本当にこの3日間、気持ちの高ぶるのを感じました。5年に1度は参加し、気持ちをリフレッシュしたいものだと思います。

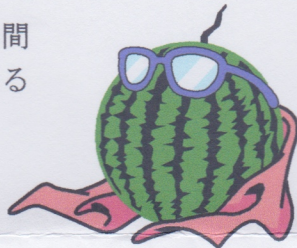
## 野菜作りと青少年育成！

新川 裕二

朝、4時半になると、少しずつ白み始める。おもむろに起きて、愛犬「ちゃこ」の散歩に行く。20分程度の散歩が終わると、家の前にある昨年より少し広げた6畝の畑に、栽培している野菜の顔を見に行く。

- ・トマトが順調に育ち、挨拶をして、脇芽をとってやる。
- ・私の大好物のスイカのつるを整理しつつ、雌花に交配をしてやる。
- ・キュウリの迷っている先端を、張ってあるネットに誘引してやる。……

畑にいと、時間がいつの間にか過ぎていく。大きくなる野菜に笑顔が……。



そして、朝ごはんを食べた後、決まって7時20分には、家の前を一番早い集団登校の子ども達が通ってゆく。

退職前の勤務地で、たくさん子ども達が、安全ボランティアの皆さんに助けていただいた。少しでもという恩返し気持ちと自らの健康作りかねて昨年、退職をきっかけに地元の子どもの登校時の見守りボランティアをやらせていただいている。

初めてボランティアとして立った日は、1年生の子どもに「おじいさん」と呼ばれとまどっていた自分。振り返れば、確かに、小学生にとっては、「おじいさん」だ……。

登校の様子を見ていると、子どもたちの心や、抱えている背景が見えてくるようだ。指導者としてではなく、支援者(?)として、見守り、寄り添っている。

- ・挨拶のできなかった子が、小さい声であいさつをはじめた。
- ・話しかけても、答えのなかった子が、学校のことを話してくれた。
- ・子どもの方から、先に挨拶をし始めてくれた。……



朝のわずか20分程の中で、子どもたちと挨拶をかわし、話し、見守りながら、子ども達は、少しずつ成長していくのが目に見えてくる。多くの人や物、自然のかかわりの中で、子ども達は成長している。

そして、その過程の中で、私自身が、たくさん、子ども達から、元気やエネルギーをもらってきている。

野菜を育てることと人を育てることは、共通する大切なものがあることに気づかされる日々を過ごしています。

本当に、楽しいですね!!

## 編集後記

一気に夏の陽気になり、せっかく準備した間服も着ないままに又衣替えになりました。

連日、熱中症注意報が出されていますが、皆様、体調は如何でしょうか。

昨年の12月以来の73号通信発行です。申し訳ございません。今年度も、担当させて頂くことになりました。皆様からの楽しい投稿をお待ちしています。宜しく願いいたします。